

## 選択

吉高神太陽

机の引き出しを開けるたび、  
手紙や写真、破れたチケットが語り掛ける。  
捨てるべきものと、捨てられないものの狭間で、  
心はゆれる。

このしわだらけの紙切れは何だろう???

「また行こう」と約束した日から、

一度も触れなかった地図。

行かなかった道。

それでも、あの日の笑顔が宿るから、  
指先の迷いを見せる。

捨てる、とは何だろう？

それを忘れること？

それとも、新しい空間を生むこと？

けれど、捨てない、とは何だろう？

それは過去に縛られること？

それとも、繋がりを守ること？

道端に落ちた枯葉は、

土に還り、新しい命を育む。

だからと言って、すべてのものが

そのように自然に循環するわけではない。